



# 市議会だより

## ひらかわ



### 令和にかがやく 平川市のたからもの

平川市立金田小学校のみなさん



学校の先生より

「かしこく なかよく たくましく」の教育目標に向かって、コロナ禍でも内容を工夫して様々な学習活動や行事を行ってきました。今年度、校外での学習や体験活動の機会は減りましたが、258名の金田っ子は共に助け合い学び合い、心も体も元気に成長しました。

令和3年12月定例会  
令和4年2月臨時会

第65号

令和4年(2022年)  
3月15日発行

令和3年  
12月定例会 (12/3~12/17...15日間)

[本会議] 12月3日・17日 議案審議  
12月13日・14日・15日 一般質問

[常任委員会]  
12月8日 総務企画・建設経済・教育民生

令和4年  
2月臨時会 (2/21...1日間)

[本会議] 2月21日 議案審議

### Contents 主な内容

- 一般質問 ..... 2
- 議会あれこれ ..... 8
- 議会基本条例 ..... 10
- 議決結果 ..... 12

## 学校給食のアレルギー対応

アレルギー対応食の提供を求めます

葛西 勇人 議員



**議員** 食物アレルギーは消化機能が未熟な子どもが発症しやすいが、当市で食物アレルギー対応が必要な児童生徒は何名おり、具体的にはどのような対応をしているのか。

**答** 市が毎年実施しているアレルギー調査によると、令和3年5月1日現在は53名の児童生徒が学校給食でのアレルギー対応が必要となっており、

保護者と情報共有しながら、原因食材を取り除いて給食を食べる、主食に原因食材が混在している場合は弁当を持参する、牛乳を止めるなどの対応をしています。

**議員** 当市で食物アレルギー対応食を提供できていない理由は何か。

**答** 食物アレルギー対応食を学校給食で提供するためには専用の施設、専

任の職員が必要となり、多額の経費が必要になることから、実施できていない状況です。

**議員** 現在アレルギー対応食を提供している弘前市と広域連携するか、業者から購入などの形で対応できないか。

**答** 今後を見据え、情報収集しながら検討してまいります。



平川市では保護者と相談しながら、毎日の給食を提供しています。

## 平川市の今とこれから

# 一般質問

今回は11名の議員が質問しました



平川市のいろいろな課題等について、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。全質問項目は下表のとおりです。

詳細は平川市議会会議録へ



議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋・要約してお知らせします。

区分	質問事項	質問議員	ページ
市の姿勢・まちづくり	公共施設の公衆無線LAN	葛西 勇人	
	男性の育児休業	工藤 貴弘	
	自治体DX	工藤 貴弘	
	尾上分庁舎の利活用	佐藤 保	P.5
	コロナ対策	佐藤 保	
	尾上駅前のまちづくり	長内 秀樹	
	長尾市長の公約	齋藤 律子	
	平川市特別職報酬等審議会	齋藤 律子	
	令和3年産米価下落支援	工藤 竹雄	P.4
	平川市の米づくり	佐藤 保	
産業・観光	米価下落問題と過剰米消費拡大	齋藤 律子	P.6
	米づくり農家の支援	齋藤 剛	
	猿賀公園噴水広場の整備	石田 隆芳	P.7
	農業問題	中畑一二美	
	学校給食のアレルギー対応	葛西 勇人	P.2
	平賀多目的広場の照明設置・人工芝化	葛西 勇人	
	灯油代の助成	原田 淳	P.3
教育・福祉・医療	不登校の実態と対応	原田 淳	
	教育施設廃止後の利活用	山田 忠利	
	灯油購入費助成	工藤 竹雄	
	HPVワクチン	工藤 貴弘	P.4
	ごみ対策	長内 秀樹	P.5
	健康長寿の取り組み	石田 隆芳	
	小学校新入学児童への支援	中畑一二美	
	選挙について	中畑一二美	P.7
	消防団について	原田 淳	
	鳥獣被害対策	山田 忠利	P.3
安心・安全	消防団員の処遇	工藤 竹雄	
	河川整備	齋藤 剛	P.6
	県道尾上日沼線の歩道	石田 隆芳	

## 鳥獣被害対策



地域住民の安全確保を

やま だ だ と し  
**山田忠利** 議員

**議員** 令和3年10月には碓ヶ関久吉地区で地域住民がクマに襲われ死亡する事故が発生したが、当市の鳥獣被害の実態は。  
**答** 令和3年度はクマ28件、イノシシ6件、サル1件、シカ3件の目撃情報が寄せられ、被害状況としては人的被害（死亡事故）が1件、農作物被害が計14件、約50万円報告されています。

**議員** 平川市鳥獣被害対策実施隊員には活動報酬が支払われているが、捕獲活動等の際の車代やわな用の餌代等も別途支給すべきではないか。  
**答** 活動報酬は、捕獲活動等の際の車代を含む賃金として1時間当たり1千円を支給しているものです。餌代については、猟友会へ交付している補助金などで対応していた

だきたいと思います。  
**議員** 若者の狩猟組織への加入促進のため、猟銃の購入費を助成してはどうか。  
**答** 猟銃は個人的な狩猟目的でも使用できるものであるため、購入費用の補助は難しいと考えています。加入促進のための支援については、猟友会と意見交換しながら検討してまいります。



クマに荒らされたとみられるニンジン畑。

## 灯油代の助成



経済的負担の軽減を求めます

は ら た わ り し  
**原田 淳** 議員

**議員** 数年前に当市で行われた灯油代の一部助成の詳細は。  
**答** 平成26年度の消費増税の際、急激な経済変動へ対応するため、市内の高齢者世帯・障がい者世帯・多子世帯・ひとり親世帯などのうち、在宅の住民税非課税世帯1865世帯に対して1世帯当たり1万円の灯油券を支給しました。

**議員** 灯油価格は今後も高値が続く見込みであり、国は、各自治体が実施する生活困窮者への灯油購入費助成に対する経費について特別交付税措置を講ずると発表した。当市においても灯油代を助成する考えはあるか。  
**答** 国の動向を注視しながら、助成事業を実施する準備を進めています。  
**議員** 助成の対象要件と

世帯数、助成額は。  
**答** 住民税非課税世帯を対象に、1世帯当たり1万円、約4千世帯に助成する見込みです。方法はコロナ克服・新時代開拓のための経済対策として住民税非課税世帯に交付される10万円に上乗せする予定です。  
**議員** スピード感を持った支援を望む。



平成26年度には灯油券で助成しましたが、今年度は現金で給付します。

一般質問の全文は平川市ホームページで読むことができます。  
 インターネットで「平川市議会 会議録」と検索するか下記のQRコードをご利用ください。

平川市議会  
 会議録



## 令和3年産米価下落支援

稲作農家への支援の充実を

くどうたけお  
 工藤竹雄 議員

**議員** 令和3年産の米の概算金は大きく下落し、稲作農家の経営は苦しくなっている。10アール当たり定額で支援をする市町村もあるが、当市では実施しないのか。

**答** 現在の米余りの状況の中で、稲作農家が持続的に経営を続けていくためには、それぞれの農家が自分に合った経営形態をつくる必要があると考

えます。そのための高収益作物の転換やセーフティーネットの加入の支援は必要と考えますが、定額の補償については考えておりません。

**議員** セーフティーネットとして、ナラシ対策、農業収入保険などがあるが、それぞれの概要は。  
**答** いずれも、自然災害による農業収入減少を補填する制度です。ナラシ

対策は、対象となる農業者や農作物の品目が限定されるのに対し、農業収入保険は青色申告を行う農業者と全ての農作物が対象となります。今回の米価の大幅下落を踏まえ、当市では、より多くの方が加入できる農業収入保険の助成を拡充し、自己負担分を半額にすることで、セーフティーネットの加入促進を図ります。



困窮する稲作農家への様々な支援策が考えられています。

## HPVワクチン

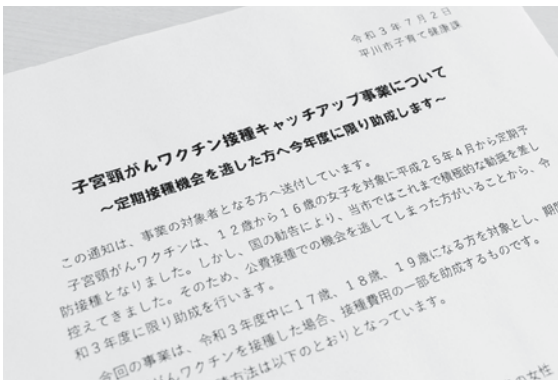
接種率向上のために

くどうたかひろ  
 工藤貴弘 議員

**議員** 令和3年度に当市が全国ではじめて実施した、HPVワクチン<sup>※1</sup>キャッチアップ接種事業の実績と評価は。  
**答** 12月1日現在、47名の方がキャッチアップ接種を行っており、HPV感染防止と子宮頸がん予防に非常に大きな効果があったものと考えます。

**議員** HPVワクチンの定期接種は12歳から16歳までの女子が対象になっているが、学校現場ではどのような啓発活動を行っているのか。  
**答** 校長会や学校保健会などで積極的な情報提供に努めていくよう指導したほか、思春期教室で産婦人科の医師にワクチンについて講演していただくなどし、正しい知識の周知に努めています。

**議員** 接種率向上のため  
**答** 今後の取り組みは。キャッチアップ接種や学校における啓発活動を引き続き行っていくほか、ワクチンの接種相談窓口を子育て健康課に設置し、相談体制を整えます。また、国が積極的な接種勧奨の再開を決定したことから、当市としても定期接種の対象者に対し個別通知を送付します。



令和3年度に対象者に送られた通知。令和4年度以降もキャッチアップ接種事業を継続します。

ことば

※1

### HPVワクチン

子宮頸がんを引き起こすヒトパピローマウイルス（HPV）への感染を予防するワクチン。日本では副反応の危険性が大きく報道されたことで積極的な接種勧奨が差し控えられ、接種率が著しく低下。平川市では公費での接種機会を逃した17歳から19歳の女性に個別通知を発送し、最大3回、約5万円分の接種費用を助成するキャッチアップ接種事業を実施している。

## ごみ対策



これからのごみ収集を問う

おさないひで き  
**長内秀樹** 議員

**議員** 尾上地域のごみは、現在黒石地区清掃施設組合で処理されているが、令和8年4月に同組合は弘前地区環境整備事務組合に統合となる。統合後尾上地域のごみ処理はどう変わるか。

**議員** 尾上地域の分別の地域によりごみの分別が一部異なるなど違いがありますが、今後統一される予定です。

**議員** 統合の機会に合わせて、高齢者に優しいごみ出しの施策を考えてほしい。例えば他市では、どうしても集積所までごみを持っていけない市民のため、戸別に収集する事業を行っているが、これを当



引き続き、ごみの分別にご協力ください。

## 尾上分庁舎の利活用



具体的な活用方法はいつ決まるのか

さとう 保  
**佐藤 保** 議員

**議員** 現在尾上分庁舎にある市の組織は、窓口機能のみを残し令和4年度中に本庁舎へ移動となる。その後の尾上分庁舎の活用方法は。

**議員** 尾上分庁舎の利活用については、弘前大学との共同研究事業として検討し、基本ポリシーを「子ども、若者、子育て世代、働く世代、シニア世代などすべての世代が

気軽に利用し、共存できる場所を創り育てる。」としました。これを実現するため、図書館機能の充実、子どもや親子が集える場所、市民が周りに伝えたい魅力的な場所の3つをコンセプトとし、市民参画によって、市民の声を反映したものと進める予定です。



尾上庁舎の利活用については若手職員を中心としたワーキンググループなどで検討されています。

### 議会miniコラム 西十和田トンネル(仮称)早期建設を求める意見書を提出

12月17日、「西十和田トンネル(仮称)早期建設を求める意見書の提出について」が議員提出議案として提出されました。議案は全議員賛成により可決され、12月21日、青森県議会の鳴海議員も同席し、桑田議長と黒石市議会佐々木議長が青森県庁へ意見書を共同提出しました。



議員は政策提言も含めて質問することができます。  
質問内容は、議案とは関係なく議員が自由に決めます。

## 米価の下落問題と過剰米の消費拡大

平川市産米の消費を

さいとうりつこ 齋藤律子 議員

**議員** 令和3年10月29日の議員説明会において、令和3年産米価下落対策の説明の際に、市長及び部長より「米は国策」「自分のことは自分で」との発言があったが、その真意を問う。

**答** 米は古くから国の管理の下、国民に対し安定供給が図られてきました。今回の米価下落に対しても、食糧法に基づき、国

が米の需給調整や価格の安定に取り組んでいることを踏まえ、「米は国策」と表現したものです。また「自分のことは自分で」という発言については、稲作農家のみならず、事業経営者としては、リスクや不測の事態を想定した平時からの備えが重要であるという自助の考えについて述べたものがあります。自助、共助、

公助の理念の下、市民の皆様に必要な支援を見極めながら、市政運営に取り組んでまいります。  
**議員** 過剰米の消費拡大のため、米飯給食を拡大できないか。  
**答** 給食は食育の一環として様々な食に触れることも目的としているため、当市ではこれまで同様、麺類やパンの提供を続けてまいります。



コロナによる外食産業の需要低下や食の多様化により、米余りの状況が続いています。

## 河川整備

行政による維持管理を

さいとう たけし 齋藤 剛 議員

**議員** 小国町会を流れる小国川は蛇行しているため、曲線部に土砂が堆積し、草木が生え、川の流れが悪くなり、緊急時の消防用水や農業用水の取水に悪影響を及ぼしている。その上、小国川の川底はコンクリートで、両側の護岸ブロックは3メートル近くもあり、人が簡単に下りられない。なぜこのような構造としたのか。

**答** 昭和50年代ごろの災害復旧の際、水の流れて河底が低くなるのを防止するため、そのような構造で施行されたものと思われます。  
**議員** 地域の人で堆積した土砂を排除しようにもこの護岸ブロックがあるため容易ではない。河川管理者による解決を望むが。

**答** 当市の多くの河川は県が管理しており、市では、地元からの要望と市職員による現地確認を併せ、県へ要望書を提出しています。県では、各市町村からの要望を受け、緊急性等を考慮しながら、計画的に維持管理事業を実施していますので、小国川についても、業者で土砂排除及び雑木伐採を実施するよう県へ要望してまいります。



小国川。県に計画的な維持管理を実施するよう要望します。



## 選挙について



高齢者の投票率向上を

なかはた ひふみ  
**中畑一二美** 議員

**議員** 移動手段がなく、期日前投票所まで足を運ぶことができない高齢者等のために、最寄りの集会施設等に期日前投票所を設置してはどうか。  
**答** 平成28年に、投票所までの距離がある町会に巡回式期日前投票所を設置しましたが、設置されない町会との公平性の問題や送迎の要望があったことから、平成30年に、

移動が困難な方を最寄りの期日前投票所までタクシーで送迎する移動支援に変更した経緯がありまので、今後もこの移動支援について周知及び利用促進を図ってまいります。  
**議員** 投票率向上のため、移動投票カー<sup>※1</sup>を導入する考えはあるか。  
**答** 移動投票カーは車外にテントを張る必要性などから、悪天候の日や冬

確保のため平川市公園施設長寿命化計画を策定する予定です。今後はこの計画により、猿賀公園を長期で使用できるよう改修するほか、広場周辺の整備も行つてまいります。  
**議員** 噴水広場を整備することにより、猿賀神社で挙式された方の撮影スポットとなるなどの宣伝効果も期待される。早期の改修工事を望む。

選挙のたびに発行・毎戸配布されるチラシには、様々な投票機会について記載されています。

## 猿賀公園噴水広場の整備



期待しております

いし たかよし  
**石田隆芳** 議員

**議員** 令和元年9月議会で猿賀公園噴水広場観覧場所の整備について質問したところ、観光スポットとして猿賀公園一帯の活用の在り方を総合的に検討していくとの回答があった。噴水広場観覧場所は市や観光協会等のパンフレットにも掲載されているが、季節の木々を楽しみ、岩木山を眺めることができるすばらしい

場所である。新型コロナウイルス終息後は観光客も増加すると見込まれ、さらなる整備が必要と考えるが、市の見解は。  
**答** 猿賀公園噴水広場は、噴水はもとより、花や木、岩木山が一望できるすばらしい場所であり、当市の重要な観光資源の一つであると考えています。令和3年度、市では、公園施設の長寿命化や安全

確保のため平川市公園施設長寿命化計画を策定する予定です。今後はこの計画により、猿賀公園を長期で使用できるよう改修するほか、広場周辺の整備も行つてまいります。  
**議員** 噴水広場を整備することにより、猿賀神社で挙式された方の撮影スポットとなるなどの宣伝効果も期待される。早期の改修工事を望む。



猿賀公園噴水広場で過去に撮影された写真。

**※1 移動投票カー**  
ワゴン車やマイクロバスなどの車両に記載台や投票箱を設置し、臨時投票所として使用するもの。山間部等に分散する集落に住む有権者の投票機会を確保し投票率を向上させるために用いられることが多く、県内ではむつ市が導入している。

## 教育民生常任委員会

### 実施日

2月2日(水)

### 出席委員

原田 淳委員長      佐藤 保副委員長  
 山谷洋朗委員      中畑一二美委員  
 齋藤律子委員      桑田公憲議長  
 (オブザーバー)

### 調査事項

各制度の基本的な事項について  
 ① 国民健康保険制度  
 ② 後期高齢者医療制度  
 ③ 介護保険制度

### 調査内容

各制度の概要や基本的な仕組みについて担当課から説明を受け、疑問点や気になった点について質疑応答を行い、各制度についての理解を深めました。



説明を受ける委員

## 建設経済常任委員会

### 実施日

1月24日(月)

### 出席委員

石田隆芳委員長      工藤秀一副委員長  
 山田忠利委員      桑田公憲委員  
 工藤竹雄委員

### 調査事項

- ① 引座川河川改修工事
- ② 新山国道線防雪柵設置工事
- ③ 平川総合流域防災工事
- ④ 道の駅いかりがせき改修工事

### 調査内容

進行中または施工後の上記4か所の現場について、担当課の説明を受けながらその進捗状況等を見学し、市民の安全確保や観光促進のための現状を把握しました。



新山国道線防雪柵

改修工事中の道の駅  
いかりがせき内部

## 長尾市政再始動



令和4年1月16日に告示された平川市長選挙で無投票により再選された長尾忠行市長の招集により、同2月21日、令和4年第1回平川市議会臨時会が開催されました。

市長は、第2次平川市長期総合プランに掲げた「あふれる笑顔 ぐらし輝く 平川市」の実現に向け、平川市ミライのいしずえ(礎)を築いてまいりたいと今後の施政方針を述べ、人事案件や補正予算等の計3件の議案を提出しました。

☞ P12 「令和3年12月定例会・令和4年2月臨時会審議議案とその結果(抜粋)」

## 感謝状贈呈

青森県市議会議長会から福士 稔議員へ

12月定例会初日となる12月3日、青森県市議会議長会から福士 稔議員に贈呈された感謝状の伝達が行われました。令和3年8月に福士 稔議員が議長を退任し青森県市議会議長会を退会したことを受け、これまで地方自治に尽力されてきた功績に感謝の意を表すものです。





# 議会基本条例についての 全員協議会実施

1月14日（金）、1月17日（月）に、議員全員が参加する全員協議会が開かれ、令和3年3月から議会改革特別委員会において検討されてきていた議会基本条例の素案について協議しました。ここではその会議の中で議題に上がった主なものを紹介します。



議会と市長等の関係について規定する部分です。

## 第2章 第2条(3)

### ● 議会改革特別委員会作成の原案

市長及びその他の執行機関（以下「市長等」という。）に対して、適切な運営がなされているか監視し、評価すること。

### ● それに対する議員の意見

- ・「評価すること」という表現だけでは不十分ではないか？
- ・「批判」「批評」という文言を使用した文言に変更したほうがいいのでは。

## 第4章 第12条第4項

### ● 議会改革特別委員会作成の原案

市長等は、議長又は委員長の許可を得て、質問の趣旨又は内容確認のため、議員の質問又は質疑に対し、反問することができる。

### ● それに対する議員の意見

- ・現在、議会では一般質問等の前に質問の趣旨確認等の打ち合わせをしているため、反問せずとも問題なく議会が進行している。この条項は削除してもいいのではないか。
- ・質問の趣旨や内容を確認するためであればよいが、逆質問は認めないほうがよい。「質問の趣旨又は内容確認する場合に限り」と表記を変更したほうがいいのでは。

議員の質問に対して、市長等が聞き返すことができる「反問」は、それにより議論の論点が明確になって議会の活性化が期待できる反面、議員の質問時間が削られ、議会の重要な役割である「行政の監視や政策の提言」が十分に遂行できなくなるなどのデメリットもあります。

全員協議会で出されたこれらの意見が、その後の議会改革特別委員会で再度協議されました。そして……

# 議会基本条例素案完成!

前ページの全員協議会等を経て、令和3年3月に議会改革特別委員会が発足されてから検討が進められてきた議会基本条例の素案がまとまりました。ここではその一部を紹介します。

## 第1章 総則

### 「市民のためのまちづくりを目的とします」

この条例は、二代表制の下、議会および議員に係る基本的事項を定め、市民の負託に応え、市民の福祉の向上と市勢の持続的な発展に寄与し、安心して住み続けられるまちづくりを実現することを目的とする（第1条）と、議会基本条例全体のきまりや目的を明確に定めるものです。



佐藤 保委員長

## 第2章 議会及び議員の活動原則

### 「市民の信頼・負託に応えるために」

議会は市民に信頼される議会運営を行うため、公正性と公平性を確保すること（第2条第1号）、市長及びその他の執行機関に対して、適切な運営がなされているか監視し、批判すること（第2条第3号）、議員は不断の研さんに努め、政策立案及び政策提言等に必要の調査、研究に努めること（第3条第2項）など、議会や議員がどのような原則に基づいて活動すべきかを定めます。



葛西勇人副委員長

## 第3章 市民と議会との関係

### 「市民に開かれた議会を目指して」

本会議のほか、各委員会や全員協議会の会議を原則として公開しなければならない（第6条）こと、市政の動向を市民に伝え、必要に応じて意見交換会等を開催すること（第9条）、請願及び陳情を市民からの政策提案と位置づけ、誠実かつ適切に審査しなければならない（第11条第1項）ことなどを定め、市民に開かれた議会を目指します。



山谷洋朗委員

## 第4章 議会と行政との関係

### 「緊張感を持った関係を」

市長等が議員の質問・質疑に対し、質問の趣旨又は内容確認のために反問することができること（第12条第4項）、議会は市長が提案する重要な政策等について、説明や資料の提供を求めることができること（第13条）などを明文化し、議会の活性化と、議会が行政と独立・対等の立場で市政の発展に取り組むことを目標とします。



委員の作成した条文案を基に内容を検討してきました。

## 第5章 議会の機能の充実

### 「議会活動を有効に実施する機能を」

議会の機能を高めるため、委員会は、積極的な政策の立案及び提言に努めること（第18条第2項）、円滑な議会運営を確立するため、必要な予算の確保に努めること（第19条）、会派又は議員は、政策立案能力の向上、議会の活性化等を図るため、政務活動費を有効に活用し、積極的に調査研究する（第21条第1項）ことなどを定めます。



中畑一二美委員

## 第6章 議会の体制整備

### 「政策立案・提言能力の向上のために」

議員の調査研究に資するため、議会図書室の図書の充実に努めること（第24条）、広報誌等の多様な広報手段を活用し、多くの市民が議会および姿勢に対し関心を高めるための体制整備及び広報活動の充実強化に努めなければならない（第25条）など、議会の円滑な運営及び議員の資質向上や議員活動を補助する体制を整備することを定めています。



6人の議員で会議を行っています。

## 第7章 議員の政治倫理、定数及び待遇

### 「平川市の将来のため、責任を持って」

議員は、市民全体の代表者として、高い倫理性を常に自覚し、良識と責任感を持って議員の品格保持に努めなければならない（第27条）と明文化し、議員の定数を改めようとするときは議会基本条例に規定した議会としての機能を十分に発揮できることを基本とし、市政の現状及び課題・将来展望を考慮するものとする（第28条第2項）と規定します。



工藤貴弘委員

## 第8章 危機管理

### 「緊急事態への備えを」

災害時等においても適切に行動し、議会の機能を停止させないよう、議会は災害等の不測の事態から市民の生命、身体及び財産を守るとともに、緊急時において総合的かつ機能的に活動できるよう、市長等と協力して危機管理及び業務継続体制の整備と強化に努めなければならない（第30条第1項）と明文化しました。



委員ではない議員の意見も参考にしながら、慎重に議論してきました。

## 第9章 最高規範性及び見直し手続き等

### 「この条例を基本原則とし、議会を運営します」

この条例は、議会における最高規範であり、議会に関するその他の条例、規則等は、この条例の趣旨と整合が図られなければならない（第31条）とし、議会および議員はこの条例に定める理念及び原則に基づいて制定される条例、規則等を遵守して議会を運営し、市民の代表する合議制の機関として、市民に対する責務を果たさなければならない（第32条第1項）と求めます。



長内秀樹委員

## パブリックコメントを実施します！

これらの素案は委員会内で再度協議、調整したのち、パブリックコメントを実施して市民の皆さまに全文を公開しご意見を募集します。募集期間は4月～5月頃となる見込みです。詳細は広報ひらかわや市ホームページなどでお知らせしますので、ぜひ市民の皆さまの声をお寄せください。





平川市議会会議録



各議案の詳細はこちら

# 令和3年12月定例会・令和4年2月臨時会 審議議案とその結果(抜粋)



桑田公憲議長

上程された議案	結果
<b>令和3年12月定例会</b>	
<b>条例の制定</b>	
平川市県営土地改良事業分担金徴収条例案	可決
<b>条例の一部改正</b>	
平川市税条例の一部を改正する条例案	可決
平川市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例案	可決
平川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決
平川市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決
平川市林野条例の一部を改正する条例案	可決
<b>令和3年度補正予算</b>	
一般会計	可決
国民健康保険特別会計	可決
介護保険特別会計	可決
後期高齢者医療特別会計	可決
国民健康保険診療施設事業診療所特別会計	可決
学校給食センター特別会計	可決
簡易水道特別会計	可決
水道事業会計	可決
下水道事業会計	可決
町居財産区一般会計	可決
<b>その他</b>	
市道路線の認定について	可決
平川市白岩森林公園の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	可決
平川市志賀坊森林公園の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	可決
平川市営駐車場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	可決
平川市自然の森の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	可決
平川市東部地区デイサービスセンターの指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	可決
平川市古懸コミュニティ浴場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	可決
西十和田トンネル（仮称）早期建設を求める意見書の提出について <small>（関連記事 P5「西十和田トンネル（仮称）早期建設を求める意見書を提出」）</small>	可決
コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	不採択 (起立採決)
再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書に関する請願書	不採択 (起立採決)
<b>令和4年2月臨時会</b>	
<b>令和3年度補正予算</b>	
一般会計	可決
<b>その他</b>	
平川市教育委員会委員の任命について	同意
平川市監査委員の選任について	同意

## 編集後記



新型コロナウイルスの感染拡大からほぼ2年。昨年末から減少傾向にあり、ほっとしたところに突然オミクロン株等の変異株による感染第6波が到来し、各種イベント等の中止が相次ぐなど、社会経済活動が大幅に制限されています。

平川市には、運動施設が数多くあり、いつもは、市民老若男女がスポーツを楽しんでいます。

しかし、コロナ禍の昨今、当たり前前に聞こえていた活気ある声、輝く笑顔がなくなりました。

活動制限を余儀なくされているこの状況が一日でも早く収まり、市民の皆様がまたスポーツに親しむ姿を楽しみにしています。なぜなら、スポーツは人の心を元気づけるからです。  
(石田隆芳)

## 傍聴自粛のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため傍聴は控え、インターネット中継等をご利用くださるようお願いいたします。



議会中継はこちらから▶

## 平川市議会広報特別委員会

委員長 山谷 洋 朗  
副委員長 工藤 秀 一  
委員 石田 隆 芳  
工藤 貴 弘  
山田 忠 利  
原 田 淳

令和4年 第2回定例会は  
**6月3日からの予定**  
開会は10時です。

請願・陳情は平日の  
午後5時までにご提出願います。

お問合せは  
議会事務局へ



提出方法ははこちらから▶

☎0172-44-1111